

2018年



建交労道本部夏季開会速報

No. 4 / 2018年6月19日

〒060-0909 札幌市東区北9条
東1丁目北海道労働センター2F
TEL. 011(711)7377
FAX. 011(711)7388
e-mail/kenkoro-do@nifty.com

建交労フェスタ in 北海道

360人の参加で大成功

6月15～17日に開催された「建交労フェスタ in 北海道」(第7回全国学習交流集会)は、前日までの寒さと風もおさまり、好天に恵まれた中で全国から360人が参加して大成功しました。1日目は札幌市教育文化会館での「開会集会」とサッポロビール園での夕食交流会のあと定山溪ビューホテルにバスで移動。2日目は午前中は「パークゴルフ大会」で、午後からは「青年セミナー」と3つのコースの「オプションツアー」、夜は「文化の夕べ」で楽しく交流しました。3日目はふたたびバスで札幌市内に移動し、「閉会集会」では中央本部の角田季代子委員長が「建交労のこれから」と題して講演し、参加者4人の決意表明で3日間の全日程を終了しました。道内の参加者は14支部と北海道鉄道本部の117人で、全国の仲間との交流を深めました。

力強い「潮太鼓」でオープニング

「開会集会」は小樽の元全動労(鉄道本部)の仲間たちなどによる「潮太鼓」の力強い演奏で幕を開けました。道本部の森国委員長が歓迎のあいさつを述べ、三上智恵監督の「標的の島～風(かじ)かたか」の上映のあと、記念講演で三上監督がこの映画を通じて沖縄から伝えたいことを参加者に訴えかけました。夕食交流会のサッポロビール園では、参加者がビールとジンギスカンをお腹いっぱい詰りながら楽しい時間を過ごしました。

パークゴルフ大会で鉄道本部が大きな役割

2日目は朝から「八剣山パークゴルフ場」に移動してパークゴルフ大会をおこないました。道外の参加者の多くがパークゴルフは初めてということで、特別ルールにより25チームが腕を競いました。北海道鉄道本部の仲間が競技委員(審判員)として大会のスムーズな進行に大きな役割を果たしました。午後からの「青年セミナー」では、多喜二祭実行委員会の古沢さんと鎌水さん(元建交労役員)がガイド役となり、小林多喜二にゆかりの場所を案内してもらいながら多喜二の生涯とたたかひの歴史を学びました。「小樽散策」「アサヒビール工場見学」「ダムめぐりハイキング」では北海道の歴史と自然などにふれることができました。

夜の「文化の夕べ」は、函館支部労災職業病分会の布施さんなどによる「江差追分」から始まりました。パークゴルフ大会の表彰式のあとは、福島県本部をはじめ東北ブロックの仲間による政治風刺パロディ「白波五人男」や沖縄県本部の仲間による歌が披露され、最後は参加者全員がキャチャーを踊って、道本部小玉副委員長による中締めとなりました。

函館支部学童保育分会の渡邊さんが決意表明

「閉会集会」では、1日目と2日目の行動を映像で振り返り、角田委員長の講演のあと参加者を代表して参加者の中で最年少(19歳)の関西合同支部・藤井さん、最年長(90歳)の広島支部・廣木さんなど4人が感想と決意を述べました。函館支部学童保育分会の渡邊さんは「このフェスタで学んだことを次の世代に伝えなければならないと感じた。いま道南で学童保育キャラバンにとりくんでおり、組合員を増やすためにがんばりたい」と発言しました。